

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業所管課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					成果の方向性	R2年度 予算額 (千円)	R3年度 予算額 (千円)	事業費 の増減	人件費 (目安) 金額 (千円)	R1年度 事業 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	R1年度 局施策 評価	R3年度に向けて 強化・見直した内容 (課題に対する改善方法等)	
						指標名等	現状値 (基準値)	R1年度	R2年度	R3年度										中期 目標
II-1-(4)-① 危機管理対応能力の向上	1	⑪ ⑰	防災訓練の実施	危機管理課	風水害、地震等の大規模災害時における防災体制について万全を期すため、災害に対する各種訓練を実施する。	防災訓練参加人数	2,738人 (H26年度)	目標 3,000 人	実績 18,750 人	達成率 625.0 %	3,000 人 (毎年度)	継続	10,906	10,818	維持	11,050	大変 順調	各区の災害特性に応じた訓練を実施するほか、危機管理能力を向上させるため、近年の災害事例や過去の訓練の課題等を踏まえ、多様な防災訓練を継続して実施する。 市の防災訓練の認知度や、災害に対する備えの大切さなど、行政評価のアンケート結果から得られた意見や、令和2年度の訓練結果等をもとに訓練内容等の見直しを行う。	大変 順調	災害時の防災活動の円滑な実施を図るため、市民、防災関係機関、各種団体及び民間企業等、多様な主体と連携した防災訓練を実施する。 また、訓練実施後には、分析・検証を行い、地域防災計画や防災業務計画等の運用に積極的に反映させるよう努める。
II-1-(4)-② 災害に関する情報提供と自助、共助の意識づくり	2	⑪ ⑰	みんな de Bousai まちづくり推進事業	危機管理課	過去の大規模災害では、自助・共助の力を向上させることが「減災」対策を推進する上でも必要不可欠であることが証明された。 また、「北九州市地域防災計画見直し検討会」の中でも、地域コミュニティが持つ防災力＝「地域防災力」の重要性が指摘された。 これらのことから、市民が自ら「命を守りぬく」ことができる自助・共助の力を向上させるとともに、地域防災力の育成及び活性化を推進する。	地域ぐるみの防災ネットワークを構築した校区数 ※指標廃止	4校区 (H26年度)	目標 10 校区	実績 6 校区	達成率 60.0 %	10校区 (毎年度)	継続	13,000	12,306	減額	8,050	順調	「地区Bousai会議運営支援事業」の実施単位を固定せずに柔軟に支援することで、地域の特性を生かした計画の策定を目指す。 また、令和元年度「行政評価に活用するための市民アンケート」にある防災知識の認知度や各家庭における災害に対する備えの結果を活用して事業内容などの見直しを行う。 【指標廃止・追加の理由】 令和元年度までは、小学校区単位を基本として、地区防災計画の策定と地区Bousai会議の運営支援を行ってきた。しかし、実施範囲を校区単位に限定すると、校区によっては、ハザード地域の偏りが大きく、統一した計画作りを行うことが困難なケースが散見された。そのため、校区単位での事業実施を継続しつつ、より小さな単位（マンション、町内会等）での地区防災計画の策定を目指すこととした。 小規模単位（地域）は小学校区よりも対象地域が多いため、策定目標数を10校区（毎年度）から15地区（校区＋地域）に変更する。	順調	「みんな de Bousaiまちづくり推進事業」の取組みを継続して実施し、新たにSDGsと連携した地域防災力の向上に取り組む。 具体的には、「SDGs」と「防災」の関わりを明確にし、SDGsに取り組む企業を巻き込んだ事業の推進を行っていく。
						地域防災の新たな担い手を育成した人数	67人 (H26年度)	目標 60 人	実績 100 人	達成率 166.7 %	60人 (毎年度)									
						地域コミュニティが主体となって取組み、作成した地区防災計画策定数 (校区単位＋地域単位＝地区単位) ※指標追加	4地区 (H26年度)	目標 15 地区	実績 15 地区	達成率 100.0 %	15地区 (R3年度以降毎年度)									